

附属機関等の会議録

会議の名称		令和 6 年度 第 1 回 田川市地域包括ケアシステム推進協議会 (医療・介護・住まい部会)
開催日時		令和 6 年 7 月 1 1 日 (木)
開催場所		田川市役所 4 階 第 2 委員会室
出席者	委員	学識経験者、保健医療関係者、福祉関係者、行政関係者等 1 7 名
	事務局	保健福祉課 福祉政策係、高齢障がい課 高齢介護係
	その他	
議事内容		<p>1 資料に沿って事務局から説明後質疑応答</p> <p>(1) 「医療と介護の情報共有の仕組みづくり」について</p> <p>○退院時情報記録書は誰が記入すべきか。看護師だけでは記入が難しい内容(リハビリの視点等)もあり、例えば、患者の退院調整会議の場で記入するのであれば、その患者に関わった様々な職種が集まるので、この様式の活用が可能なのではないか。</p> <p>また、この様式は退院する患者全員に使用するのか、そうでなければ、どういった場合に使用するのかを教えてください。</p> <p>退院後の世話をする人にとって、患者の病状の把握は重要である。退院する患者全員にこの様式が必要かどうかは疑問だが、退院調整会議等で、この様式を活用することが必要になってくるのではないか。</p> <p>⇒様々な職種が参加する退院調整会議等で記入できれば、より確実な内容になると思われる。様式の記入のタイミングや誰が記入するか等、活用方法について、整理させてもらいたい。</p> <p>○医療と介護の連携について、医療における様々な職種が関わる内容なので、それぞれの考えを吸収し、整理していくことで課題解決が図られるのではないか。</p> <p>医療と介護の連携で、何をやっていくのか分かりにくくなっている。大目標を定めると方向性が明確になるのではないか。</p>

	<p>これまでの意見を受けて、事務局で整理の上、次回の部会で報告をしてもらいたい。</p> <p>⇒次回の部会で整理した内容を報告させてもらいたい。</p> <p>(2) 「多職種連携のための場づくり」について</p> <p>○ケアカフェたがわについて、3年ほど前に、写真家が講師の市民講座を行い、多くの市民の参加があった。普段のグループワークは民生委員に声をかけて実施しているため、一般の方が参加しにくいですが、今回は「たーんと体操」を一回予定しており、そこで市民の方に声をかけてはどうか。一般の方が参加できるよう、市民への周知方法を検討してほしい。</p> <p>⇒承知した。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>保健福祉課 福祉政策係 (TEL : 8 5 - 7 1 1 8)</p>
<p>その他の事項</p>	<p>なし</p>